

## 中国情報 (INFORMATION CHINA)

2010年5月号

発行：国際ビジネス情報協同組合

日本の関西は一体どうなるのでしょうか？

東京が風邪を引くと関西はすぐに貰い風邪を引き、関東が治ったとしてもなかなか治りにくい悪い風邪。しかし、少し明かりも見えてきたのではないのでしょうか？

新聞を見ているとこんなことが書かれていました。

船場の商法は「始末・才覚・算用」と言われています。始末とは、始まりと終わりにけじめをつけることで、先見性という才覚を発揮し、算用（つまり勘定）を合わせるが利益より信用を重んじるということです。その心根に身の程を知る慎みと恐れがある。

先人の言葉に踏みしめ、日本人の持っている「サムライの精神」、企業の持っている底力を発揮すべき時ではないのでしょうか。

### 上海万博)

いよいよ上海万博が開幕します。

マスコミではテーマソングや、マスコット等々の盗作疑惑騒動が連日ように報道され、開幕というのに未だ完成されていないパビリオンもございます。数十万、数百万人の来場者が見込まれるのに対し、入場制限やルールを重んじない人達で会場はどうなるのかと批判も多いのですが、中国には歴史を感じさせる観光名所が多数あり、連休中に万博へ行かれる方には是非見ていただきたく存じます。

### 上海万博概要：

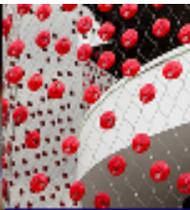
期 間：5月1日～10月末まで

場 所：上海市、上海市木裏江兩岸、上海市中心黄浦江兩岸、南浦大橋と盧浦大橋間の濱江地区

テーマ：より良い都市、より良い生活

200カ国より700万人の見学者を予定している上海は、言うまでもなく国際都市です。しかし上海の歴史はわずか200年余です。今の上海人でさえ、『3ヶ月間いなければ道がわからなくなる』言うほど急激に発展を遂げてきました。上海には観光名所も多く、その観光スポットを幾つかを案内しましょう。

組合スタッフのブログ：<http://ibia.blog6.fc2.com/> コツコツ更新中！



## 中国情報 (INFORMATION CHINA)



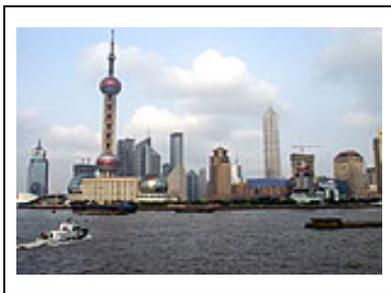
### 豫園

観光スポットの一つである豫園は、1559年から18年間の歳月をかけて作られたそうです。ここには中国の技巧を凝らした建物や奇岩が各地から集められ、まさに「上海に来た！中国に来た！」という感動を与えられます。

また隣接して豫園商城があり、中国産品を買い求めるお客さんで身動きが出来ないほど大人気スポットです。

### 西塘(せいとう)

ここは上海と浙江省との境界にあたる場所で、水郷と路地が多く異質の空間に来たようであります。この水郷を船に乗り観光し、帰りのお土産は黄酒(もち米、粟、粟など作ったお酒)も有名です。



### 東方明珠塔(テレビ塔)

1995年に完成したテレビ塔で高さは469mとアジアで1番(世界で3番目)という高層建築です。一番高いところに登ると下に雲が見える場合があります。ここから上海市内を一望するのも良いものです。

### 外灘観光トンネル

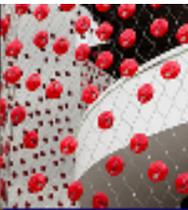
上海は南北を流れる黄浦江によって東西に分けられますが、東側はテレビ塔をはじめとする近代的な町、西側は20世紀の前半に建てられた西洋建築の美しい建物が立ち並びます。そんな東西を結ぶ川の下を通るトンネルが外灘観光トンネルです。カラフルなイルミネーションとBGMが楽しめる場所でもあります。



### 上海新天地

この場所は聞く話によると、香港人が再開発したとも言われています。

旧フランス租界をイメージし再現したもので、各国のレストランやライブハウス、アクセサリーショップやお洒落なブティックもあり、ちょうど現在風と中世風がマッチした町です。ここは一度行ってみるべき楽しい町です。



## 中国情報 (INFORMATION CHINA)

### 経済(元切り上げ)

中国の貿易黒字は2年連続で前年を下回っており、米国が要求する人民元相場の切り上げに反論する材料になると思われます。

米国は対中貿易赤字に苛立ち、元の切り上げを通じて貿易不均衡の是正を要求しています。これに対し、中国政府は「元相場と貿易不均衡は関係ない」と繰り返し表明をしています。しかし、減少したとはいえ2971億ドルの黒字であります。

中国は他国の干渉は受けないと言っているようですが、毎年これだけの黒字が出るようでは切り上げざるを得ないのではないのでしょうか。当初の切上げ幅は2~3%で緩やかに切り上げ、順次5%まで切り上げるというのが一般的です。しかし今もなお、中国政府内で切り上げ必要なしの議論もあるようです。

### 経済(不動産価格)

中国当局の発表によると4月14日温家宝首相は国務院常務会議を開き、一部都市の住宅価格の急上昇を阻止するための解決策について検討したとあります。

その内容は、

1. 不合理的な住宅ニーズを抑制(要は投機的な不動産ニーズを抑える)
2. 初めての住宅購入で建築面積90㎡以上の住宅を買う場合、住宅ローンの頭金は30%以上とする。  
90㎡というのは共用部分を含めた面積で、日本的に言うと約72㎡になります。(約20%が共用部分)  
頭金が30%というのは30%が自己資金で、後の70%は銀行ローンということです。中国の銀行ローンは日本と違い、万一不払いになった場合、自己資金分の30%を捨てれば、あとの70%に支払義務は無い(言い換えれば、70%を銀行は責任を持つということ)になります。
3. 住宅ローンで2軒目を買う場合の頭金は50%以上に、また利息は基準金利の1.1倍とされる。
4. 住宅ローンで3軒目以上を購入する場合は、頭金の比率とローンの利息を大幅に上げられる。
5. 住宅の供給量を増やすために保障性住宅(低所得者の生活保障を目的とする住宅)の建設を加速する。

### 《解説1》

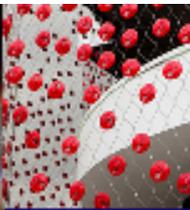
現在中国では不動産バブルの様相を呈していることは間違いのない事実であります。これ以上の投機的不動産の高騰を抑えることが必要との認識を政府が持ち始めています。

経済は都市と田舎、沿岸部と内陸部の格差が極端になってきています。

金持ちは政府と組んで不動産投資を行い益々裕福になる一方、農民を初め、低所得者層の所得では何百年も働かないと住宅が買えない価格の高騰の中で反発が高まっています。政府はこれを押さえるため、住宅の供給を低所得者にも拡大する必要が迫られています。

違う言い方をすれば、中国の歴史をしてみると、農民の蜂起による政府の崩壊の歴史と言っても過言ではなく、これを抑えるための政策でもあるのではないのでしょうか。農民戸籍は都市戸籍に変えられないことが制度としてあり、農民の1億数千万人が大都市に出稼ぎに行って低賃金で働いている実態があります。

現在、中国の不動産は、海南島は春節の前後で1.5倍程度上がりましたが、他の不動産は短期では落ち着き始めているようです。



## 中国情報 (INFORMATION CHINA)

### 《解説2》

中国と日本とでは、銀行の貸出の法律・方式自体が違ってきます。

日本では、不払いになって不動産の競売などで足らずが出て、その部分の支払義務があります。

中国で仮に30%が自己資金で70%が借入とします。仮に払えなくなった場合、銀行借入れの70%の支払義務が生じず、この不動産を銀行に引き渡せば終わりです。そうするとどうなるのか？

投資家などが900万円でマンションを買い、300万円は自己資金で600万円は銀行借入れだったとします。

もしこの不動産が1200万円で売れたとすれば、投資額300万円で200%、倍の300万円の儲けです。また、逆に下がった場合は300万円を放棄すれば良いのです。投資家の危険負担は30%の300万円だけで、残りの700万円は危険負担がありません。

これらから言えることが、

①バブルが起こりやすい。

②不動産が30%以上下がれば、下がった部分は銀行の危険負担となります。

従って、政府は30%以上下げる政策を取れません。

### 懲りない国、中国)

皆様も覚えていますね？北京オリオンピックでの「ロパクパク」、ダンスする人が歌っているように見えているが、実は別人が歌っていた等々。

### 今度もまた上海万博で問題が発生しました。

上海万博の公式テーマソングにはジャッキー・チェンやアンディ・ラウなど有名人が出演を予定し、テーマソングの冒頭でジャッキー・チェンが「2010年、あなたが来るのを待っています。上海で世界が抱擁する」と歌いだします。

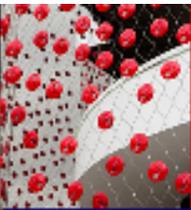
このテーマソング、日本のシンガーソングライター岡本真夜さんの曲「そのままの君でいて」の盗作だったのです。盗作疑惑は最近インターネット上で最初から最後までメロディーが同じで、「万博は世界に中国をアピールする場なのに恥ずかしいことだ」と非難が相次ぎました。

中国はコピー大国で偽物はたくさんありますが、このような非難が出てくるということは、少しは『普通の考え方』を持つ人が多くなってきたのでしょう。

たまたまその後、当局は岡本真夜さんをお願いし4月20日承諾を得たとのことでもあります。

万博のシンボル「中国館」や「マスコット」等のパクリ疑惑…、出るわ、出るわでビックリですよ。

組合スタッフのブログ：<http://ibia.blog6.fc2.com/> コツコツ更新中！



## 中国情報 (INFORMATION CHINA)

### 日本の乾いた世の中で潤いのある話)

私の友人で、あの業務停止になった阪和銀行の支店長をしていた人から聞いた話です。

当時、彼は和歌山県南端の新宮市の支店長をしていたのですが、ある日突然の「阪和銀行業務停止」。

当日の朝 2 時に突然電話で叩き起こされました。朝まで寝ることなく、他の行員や取引先に電話を掛けましたが、朝が早いので誰も電話口に出てきません。

6 時には出勤したのですが、銀行の前は報道陣で黒山の人だかりです。行員全員が罵倒される中で地元では有名なお金持ちが銀行にやってきました。

この人が「支店長に会わせろ」としつこく言うので、普通は業務停止をしているので会ってはいけないのですが、多額の預金でお世話になっていたこともあり裏口から応接間に通しました。

彼はいきなり支店長の胸倉を掴み、「業務停止はわかってたんやろ！何で業務停止の前に教えなかったんだ！どれだけ預金していると思っとるんや！」とえらい剣幕です。支店長は、業務停止がわかった時間を話したのですが当然納得しません。仕舞いには、ドアをすごい力で蹴って出て行きました。

こんな混乱の中、夜 8 時頃、あるお婆さんが「ものぶた」(餅を作った時に入れておく容器)を 2 個、自転車の後ろに積んで三重県側から新宮市への橋の上を歩いてくるのが街灯の薄明かりの中で見えました。

お婆さんはそれを持って銀行内に入ってきました。

毎月 5000 円の積み立てをしてくれており顔見知りだったのですが、危ないものでも持ってきたのではないかと不審に思いました。この老婆が言うには、

『あんたら食事もしてないやろ。おにぎり作ってきたから時間空いたら食べてや。汚い手やけど、よく洗って作ったんよ。』

見てみると、大きなおにぎりとお漬物の「こんこ」(沢庵)のぶつ切りが入っていました。業務が終わり、通常の状態であれば「こんなもの」と思うのですが、これ程おにぎりが美味いと感じたのは初めてでした。

日が経ち、仕事が少し落ち着いて出来るようになったある日、そのおむすびの話が出て、行員一同お金を集めプレゼントを買い、お礼を言いにお婆さんの家に行きました。

おばあさんは大喜びし、「私は製材屋やってたんやけど、本当にあんたところの銀行にお世話になりました。今こうして居られるのも、あんたところの銀行のおかげやで。私が毎月 5000 円積み立てしているのは、年金のお金で少ない額やけど、今までお世話になったお返しです。皆さんが取り付け騒ぎの中で食事も出来ないのが見えました。家に帰り、おにぎりを作って持って行きました。今までのお世話になったお礼の印です。」

銀行では業務停止の当日は、銀行の窓口に来るのさえ怖いくらいでした。こんな中、おにぎりを持って来てくれた『**お婆さんの心**』に大感激し、一同泣きじゃくりました。

元支店長は、『**お金は大切なものですがお金に振りまわされ、人間の心を忘れてはいけません。行員の若い職員は、銀行が倒産し職を失いましたが、一生の宝になったでしょう。**』と話されました。

現在の乾いた世の中で『誠には誠で接し』、この場にいた行員たちは、お婆さんの心意気を一生忘れることなく心豊かに過ごすことなのでしょう。お婆さんの気持ちもさることながら、お礼に行った支店長初め行員の方々も立派なものです。日本もまだまだ捨てたものではありません。



## 中国情報 (INFORMATION CHINA)

### 中国人と日本人 (面白い言葉・文化の違い)

漢字は同じでも意味が随分違うものが日本語と中国語にはあります。

日本語 ⇒ 中国語

非常口 ⇒ 太平門

自動車 ⇒ 汽車

汽車 ⇒ 火車

トイレトペーパー ⇒ 手紙

ある中国人が日本に出張でやってきました。その中国人は日本の案内人に「日本人はよくスズメを食べるのですね」と言いました。

案内人:「何で??？」

中国人:「だってスズメの食堂の看板が多くあるでしょう」

案内人:「え??？」

中国人:「麻雀という看板ですよ」

案内人:「何だ！スズメは中国で麻雀と言うのですね」

同じ漢字でも違うものです。

中国では衛星放送で日本の番組が見られます。

日本人:「一緒に温泉に行きましょうか？」

中国人:「いいですね。是非行きたいです」

日本人につれられ、中国人は一緒に行きましたが、温泉に入り中国人はがっかりしたような顔で出てきました。

日本人:「温泉は良くなかったですか？」

中国人:「この温泉は少しおかしいのでは？」

日本人:「泉質が悪いのですか？」

中国人:「日本では温泉に入るとき、男も女も皆一緒です」

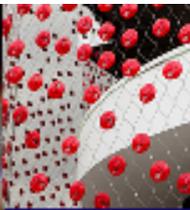
日本人:「え！？そんなこと無いですよ」

中国人:「だって日本のテレビではいつも一緒に入っていますよ！」

確かにテレビで紹介をしている番組では男女混浴が多いですよ(笑)

### 研修生の旅立ち

4月には中国青島と大連から来た男女計11名の研修生たちが企業へ旅立ちました。彼らは数ヶ月中国現地での事前研修と、来日後約一ヶ月の集合研修で日本語や日本の慣習をしっかりと身につけ、元気ハツラツ希望の燃えた船出を向えました。3年間で高度な技術、日本の良い慣習などを身につけ、中国で花開くことを願っています。



## 中国情報 (INFORMATION CHINA)

外国人研修制度による研修生を受け入れるのも、中国をはじめ、世界を知る絶好のチャンスでもあると考えております。

できるだけ多くの方に研修生と触れてもらうため、見学会を実施しております。「百聞は一見にしかず」です。是非お越し下さい。

事前にご連絡いただければ、組合スタッフがご案内致します。

また、今年7月から入管法が法改正され、同時に外国人研修制度も変わります。私たちの組合では今後も更に優秀な研修生を企業に送出致します。

### 【投稿募集します！】

中国に関する情報、ご意見、相談、自慢話等々、どんな内容でも結構です。貴方からのご投稿お待ちしております。匿名やペンネームでも OK です。

投稿先：[info@ibia.or.jp](mailto:info@ibia.or.jp)

組合ホームページ：<http://ibia.or.jp/>

組合スタッフのブログ：<http://ibia.blog6.fc2.com/> コツコツ更新中！